

# 鳥海山・檜ノ沢下部ゴルジュ

T野

2023年8月11日～12日

メンバー： T野・I崎・T中m・S口



お盆の3連休、当初の予定は大峰・前鬼川で、あの有名な「前鬼ブルー」を楽しもう！！というものであった。この計画は、実は昨年のお盆にも計画したが、天候不良で中止したりベンジ企画である。しかし、出発日が近づくにつれ、今年も予報が悪くなり、さらに、出発直前の数日はかなりの大雨が降ったようで、もし、当日予報が変わって晴れたとしても、かなり増水した状態で、「前鬼ブルー」が「前鬼ホワイトウォーター」になっている可能性が高いと判断し、今年も残念ながら中止することにした。

さて、転進先だが、東北北部がまずまずの予報で晴天が期待できたので、これまた、以前から気になっていた同じ「ブルー」が自慢の溪、「檜ノ沢下部ゴルジュ」を遡行して、万助小屋付近で尾根を乗り越し、これまた、上越の沢のように明るい美溪と称される「南ノコマイ上部」を継続遡行することにした。本来なら、「南ノコマイ」を下部から継続できれば最高に美しいルート

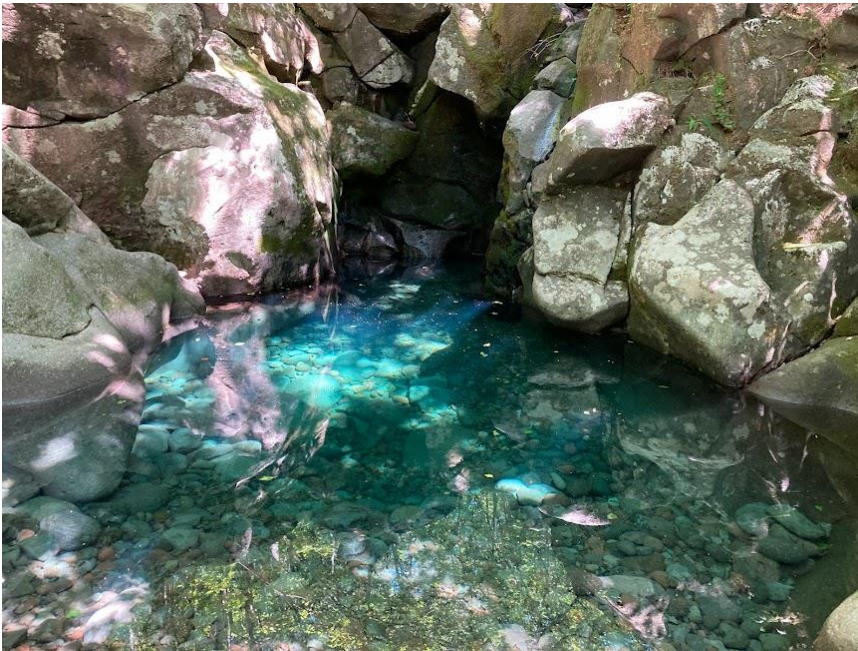


になるが、「南ノコマイ」の下部ゴルジュは我々には少し手強過ぎるので、「より楽しく安全に遡行できるルート」ということで、こういう変形ルートを考え、メンバーの賛同を得て実行した。さて、この転進案、どうなることか・・・？

下記、報告です。

■写真上 鳥海山に多い枝分かれのブナ。

■写真下 さあ、ゴルジュの始まり始まり！！



8/10

21:00 西武池袋線練馬駅  
集合、遠方地なので本当は  
少しでも早く出たいところ  
だが、そこは皆、普通の社  
会人・・・精一杯努力して  
もこの時間にでるのがやっ  
とである。それでも、鉄道  
遅延もあり少し遅れて  
21:15 頃出発。途中、関越  
道の昭和インターで I 崎さ  
んと合流し、日本海に向け  
深夜のドライブを楽しみ、  
「道の駅朝日」の軒下を借  
りて仮眠。

■写真上 これぞ檜ノ沢ブ  
ルー！！

■写真中 大人の水遊  
び！！楽しい！！

■写真下 ゴルジュ突破も  
面白い！！

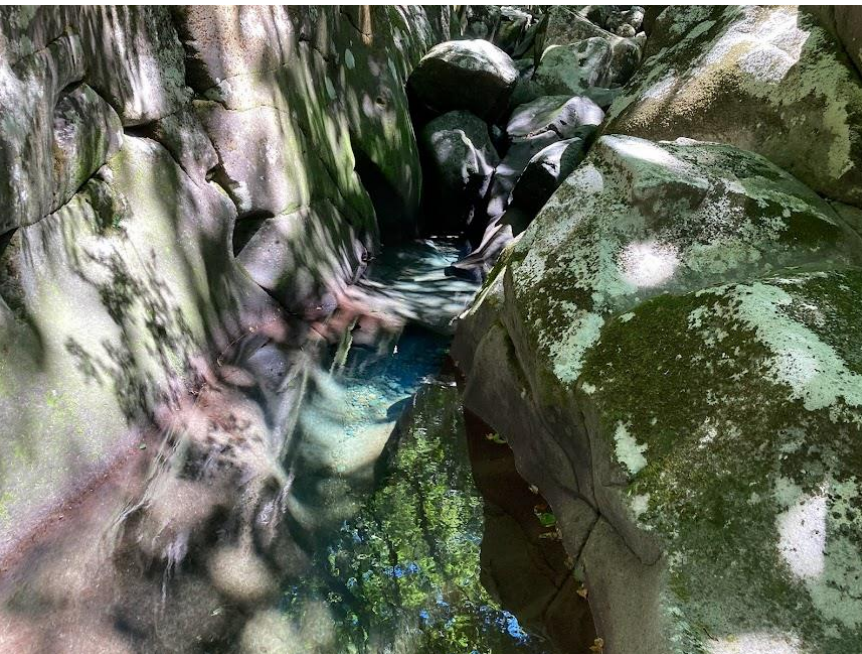


8/11

6:00 頃出発し、長距離ド  
ライブの続き。途中のコン  
ビニで買い出しと朝食、一  
路、二の滝登山口を目指す。  
長いドライブだったが 9:00  
頃に現地着、準備して 9:20  
出発。2 泊分の装備は重く、  
のんびり歩くしかない。

10:50 入渓点の渡戸に到着。

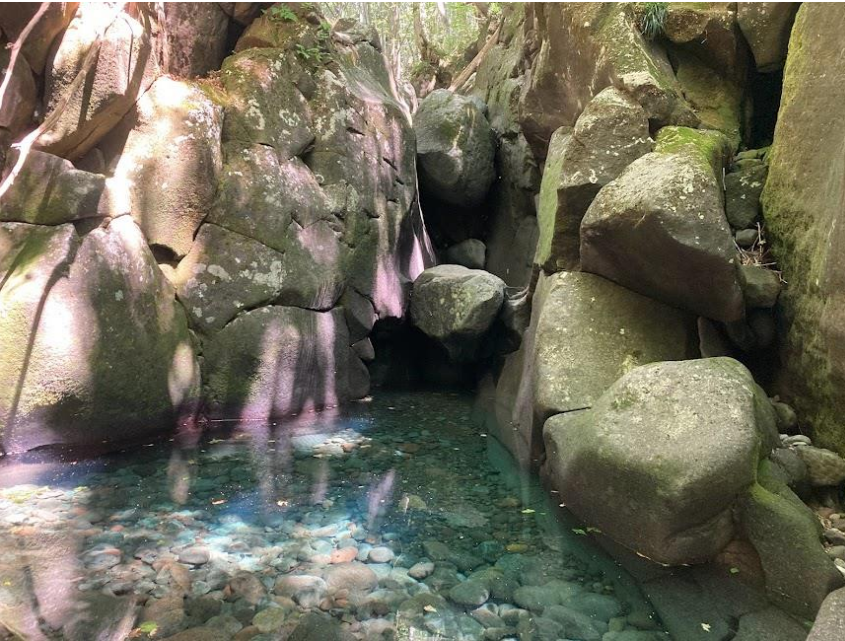
「ありゃりゃ！！水が枯  
れとる！！」実はこの溪、  
雪解け水を主な水源とす  
る溪で、7月～8月上旬  
が旬の溪で、「檜ノ沢ブ  
ルー！！」などと呼ばれ  
ブルーの水を満々と溜め  
た淵の美しさが自慢の溪  
なのだが、8月になると  
水源の雪溪がなくなるに  
つれ水量が減り、やがて  
枯れてしまう、という溪  
である。それゆえ、魚も  
住むことができない溪な  
のだ。今回、訪れた時期





が少し遅かったようで入渓点はすでに伏流となっていた。まあ、少し残念だが、そのうち水流は復活することを期待して 11:05 入渓する。

- 写真上 ゴルジュに行く。
- 写真中 さあ、どうやって登ろうか？
- 写真下 水がもう少し多ければなあー。



檜ノ沢下部ゴルジュはすぐに始まり、初めて見る岩の回廊に感動！！水量も少ないながら復活して、淵は名の通り「檜ノ沢ブルー」非常に美しい！！ひとつひとつの淵や小滝の通過が、程よい難しさで楽し過ぎて思わず時間を忘れ、その作業に没頭してしまう。いくつかの淵や小滝を超えて、現在地を確認するとほとんど進んでおらず唖然とする一幕も。唯、今日はこのゴルジュを突破すれば、どこでもタープを張れるので、せっかくなのでほとんど巻かずに突破に拘る。まあ、巻くならば、側壁は低いので



容易に巻ける。なので、自分たちの実力に応じてルートが選べるのでプレッシャーはまるでない。とにかく楽しいので、今度は水量が豊富で、泳げる7月下旬ころにぜひ、再訪したい渓である。僕は同じ沢の再訪はあまりしないタイプで、特に遠方地はなおさらなのだが、ここは特別だ。「登攀」というより「レジャー」といった趣があり、何回来ても楽しそうな場所である。ゴルジュは断続的に760m付近まで続き、約2

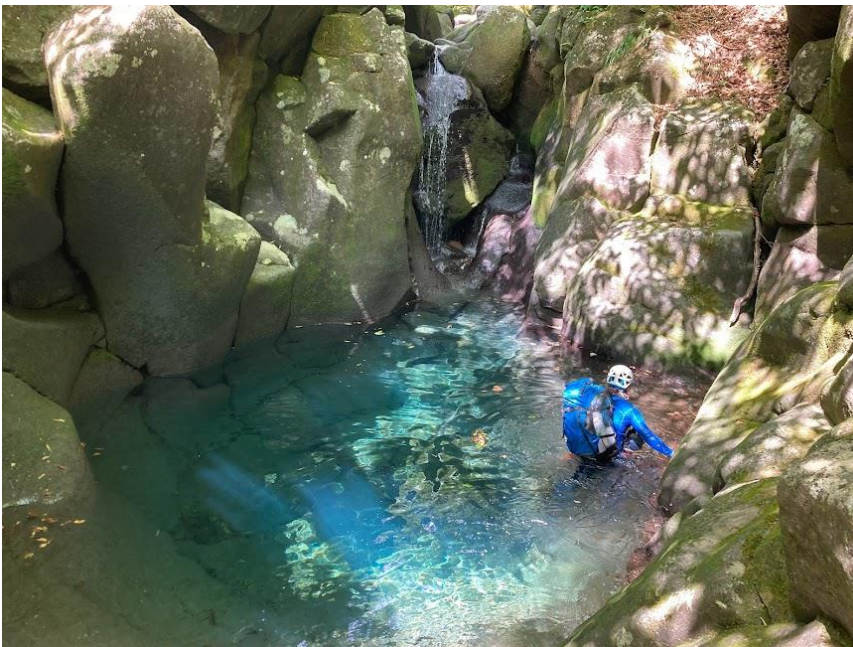


時間 40 分のお楽しみであった。今回、ロープは使用せず、お助けを数回出した。遡行グレードは 2 級あるかないかといったところだろう。檜ノ沢上部はすでに 2 回遡行しているが、巨岩帯～小滝連続～天国の詰めといった素晴らしい遡行が楽しめるので、下部から継続すれば真夏の初級者向けの溪としては超お薦めである！！

■写真上 大人の水遊びパート 2

■写真中 ホント、水の色が素晴らしい！！

■写真下 もちろん透明度も最高！！



さて、下部ゴルジュを充分楽しんだ我々は、770m 付近に適地を見つけてタープを張った。しばらく雨が降っていないのか、薪は乾ききっていて一発点火！！煙も出ず、すぐによい火になる。いつものように松戸の枝豆を茹でてビールで乾杯！！そのあともメンバーが持参した様々なツマミで



いつしかビールから日本酒へ……。実は、昨晚の寝不足と、あまりの気持ちよさに松戸の枝豆の後のことはほとんど記憶になくなり、ウトウトしたり起きたりを繰り返して宴会に参加していたようで、生まれて初めて夕飯を食べたことすら覚えていない、という体験をして I 崎さんの世界に仲間入りをしてしまった。僕としたことが……。まあ、そのくらい気持ちの良い夜であったということだろう。ちなみにタープには

自力で戻って寝たことを明記しておく。

8/12

4:00 起床、mさんプロデュースの冷麺を食べていると、何とポツリポツリと雨粒が……。全くの想定外である。6:15 出発するころには本降りに……。とにかく、電波の届く場所まで行って天気予報を確認しよう。すでに下部ゴルジュは突破しているので850m付近で脱溪して登山道に上がる。ものの30mも登れば登山道だ。そこから約30分で万助小屋。ここで電波が通じたので予報を確認すると「あれれえー！！」今日は1日雨で、明日も曇りがちで晴れ間無しという予報に変わっている。明日が晴れるなら、今日は万助小屋で停滞して、明日、行ける場所まで遡行して下山というもありだと思っていたが、この予報だと、全員一致で停滞してまで遡行を継続することもない、という判断で本日中の下山を決めた。一休みして、ビール1本消費して荷物を軽量化？下山を開始。我々は、確かに登りは遅いが、下りはまあまあ、普通に降りれるので約2時間で二の滝登山口に下山。温泉は、前回良かった「八森温泉ゆりんこ」（¥460）で汗を流し、酒田の幸楽苑のラーメン餃子でお腹を満たしひたすら南下。今晚はI崎さん宅でお世話になる。

8/13

このまま帰るのももったいないので、佐野の唐沢城跡を見学！！山の中では一切カメラを出さなかったmさんが石垣やら説明書きやらにカメラを向け連写していたのが印象的、さすが城跡マニアである。僕はまだこういう世界に「夢を馳せる」域までは達していない。グッチも同じような目をしていたのでおそらく同様であろう。ただ、若いころと比べるとこういう世界に少し興味が出てきているのは確かである。まだまだ修行が足りない。

ということで、今回、残念ながら「南ノコマイ上部」には行けずじまいでした。でも、檜ノ沢ブルーも楽しめ、良い焚火もできて、メンバーとのおしゃべりも楽しく、良い時間が過ぎて良い山行でした！！

「南ノコマイ上部」はまたいつか！！まあ、楽しみは後にとっておきましょう！！そうして何回も計画していくことができた沢も過去に数多くありますので……。

最後に、同行したメンバーの皆さん、有難うございました！！I崎さんとmさん、来週も宜しく！！グッチ、祝子川頑張ってるね！！

## ■コースタイム

8/11

二の滝登山口（9:20）～（10:50）渡戸（11:05）～（14:10）テンバ

8/12

テンバ（6:15）～？万助小屋？～？二の滝登山口